

特別企画 Meet the Professor

Meet the Professor 1：エルゼビア・ジャパン株式会社 「臨床研究の組み立て方」

■日程：第1日 6月27日(土) 14:40 - 15:30

■場所：第3会場 2F 第4・5会議室

■Professor：森 宏仁 愛媛大学大学院医学系研究科 先進消化器内視鏡開発学



内視鏡診断と内視鏡的切除による低侵襲治療の開発を推進

愛媛大学大学院医学系研究科先進消化器内視鏡開発学講座教授。1996年徳島大学医学部卒業。医学博士(香川大学)。消化管癌の画像強調内視鏡診断や消化管腫瘍に対する消化器内視鏡的切除による低侵襲治療、いわゆるflexible endoscopic surgery (FES)の研究・開発を推進しています。APDW 2012 President Award、香川大学学長賞など国内外で受賞歴を有し、医工連携や新規内視鏡機器開発にも積極的に取り組む。日常診療のアイデアを研究・特許・機器開発へ発展させたい方におすすめのセッションです。

■Professor：三宅 映己 愛媛大学大学院医学系研究科 地域生活習慣病・内分泌学



MASLD/MASHを中心に、代謝異常と肝疾患の関連を臨床研究や疫学研究で解明

愛媛大学大学院医学系研究科地域生活習慣病・内分泌学講座教授。2002年山口大学医学部卒業。医学博士(愛媛大学)。MASLD/MASHを中心に、代謝異常と肝疾患の関連を臨床研究・疫学研究・基礎研究の各側面から探究しています。肝線維化、肝発癌、糖尿病発症リスク評価、栄養・生活習慣因子などをテーマに多数の研究業績を有し、愛媛大学大学院医学系研究科長優秀論文賞や愛媛医学賞を受賞。日常診療の疑問を研究へ発展させたい方、臨床データ解析や研究デザイン構築を学びたい方に最適なセッションです。

■Professor：古川 慎哉 愛媛大学 総合健康センター



炎症性腸疾患や機能性消化管障害を中心に、公衆衛生学的視点から臨床指標と病態の関連を解析する研究を展開

愛媛大学総合健康センター教授。1997年愛媛大学医学部卒業。医学博士(愛媛大学)。炎症性腸疾患や機能性消化管障害を始め様々な疾患・病態を対象に臨床疫学・公衆衛生学的視点から研究を展開しています。多施設共同研究や大規模データ解析を強みとし、疾患横断的な研究デザイン構築、統計解析、疫学研究の実践に精通。日本消化器病学会奨励賞、愛媛大学学長特別賞、Endocrine Journal Top Reviewers Awardなど受賞歴も多数。これから臨床研究を始めたい方、公衆衛生学的視点から研究を組み立てたい方に最適なセッションです。

■Professor：岡本 渉 広島大学病院 がん化学療法科



消化器癌およびバイオマーカーに基づく臓器横断的がん治療を中心に、分子標的治療やがん臨床試験の立案など、腫瘍内科領域で活躍

広島大学病院がん化学療法科教授・がん治療センター長。2002年愛媛大学医学部卒業。医学博士(近畿大学)。消化器癌を中心にバイオマーカーに基づく個別化医療の開発を推進してきました。全国規模のがんゲノムスクリーニングプロジェクト“SCRUM-Japan”を通じて本邦におけるがんゲノム医療体制の構築や医師主導治験の立案・実施に携わってきました。臨床研究支援部門での勤務経験も有しておりエビデンス創出や医薬品・コンパニオン診断薬の薬事承認を目的とした臨床試験に精通しています。トランスレーショナルリサーチや臨床試験志向の研究を学びたい方に最適な機会です。

【申込方法】

以下の運営事務局宛に、メールにてお申し込みください。

その際、「氏名・所属・卒業年度(医学生は見込み)・希望するProfessor名・相談したい研究内容(120字程度)」を明記してください。

【申込先】

株式会社 CLeF (第125回日本消化器病学会四国支部例会 運営事務局)

住所：〒710-0253 岡山県倉敷市新倉敷駅前3丁目9-5

TEL: 086-454-6190 / FAX: 086-454-6192 / E-Mail: g125-e136sh@c-lef.co.jp

人数制限あり